



## 現地写真集

**(Citation)**

カンボディア学術調査報告, 1:2-18

**(Issue Date)**

1958-03

**(Resource Type)**

departmental bulletin paper

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81006888>



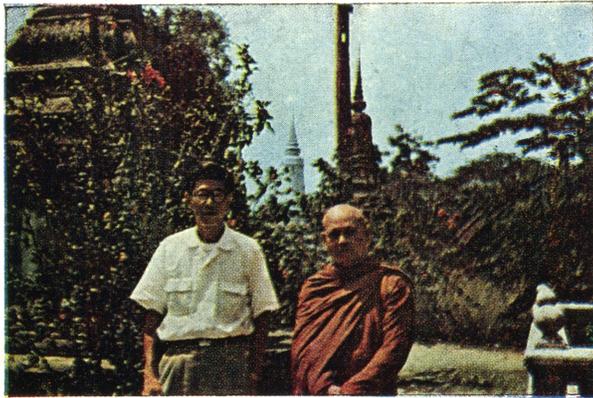


Fig. 1 ダルマワーラ大僧正と佐藤助教授 (プノンベン大僧正寺院)



Fig. 3 豚はこのようにして籠に入れてトラックにつまれば運ばれる (カンボット附近)



Fig. 2 粳搗をするカンボディア婦人 (クラチエ附近)



Fig. 4 旅行中最悪の状態, このようにしてやっとプノン族 (ムノン) 部落にたどりついた (クラチエの奥地)



← タイ・カンボディア国境を通過する調査員  
佐藤（右），高山（左）両助教授

王宮．中央の建物はその舞踏場 →  
（プノンベン）



↑ カンボディアを縦走する大河メーコン河  
（ストントレン附近）

トンレサップ湖（大湖）上の家 →  
物売りの小舟がついている  
（シェムレアップ附近）



レブラ王(アンコール・トム)

基壇の石彫 ↓



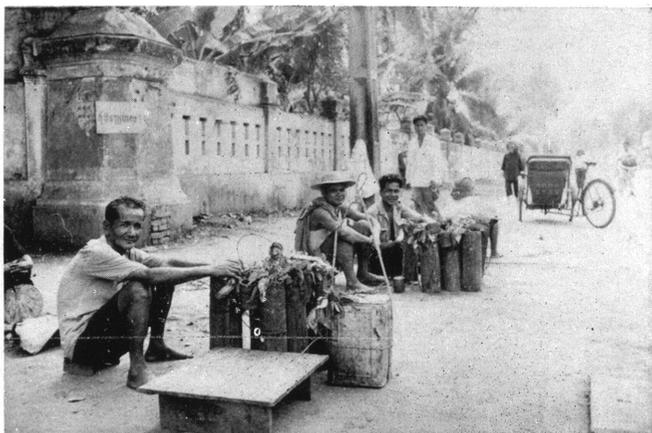
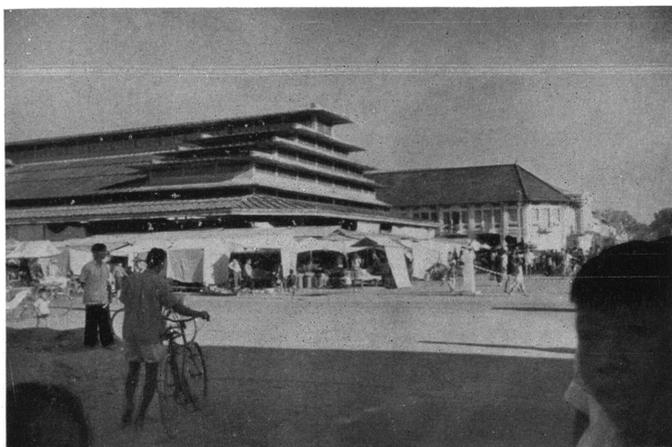
← 森本右近太夫の墨書  
(アンコール・ワットの仏前の柱)



アンコール・トム(バイヨン)の薄肉彫 →



バタンパンの市場 →



← 街頭のヤシ酒売り(プノンペン)

路上を行く国王の白象 →  
(プノンペン)

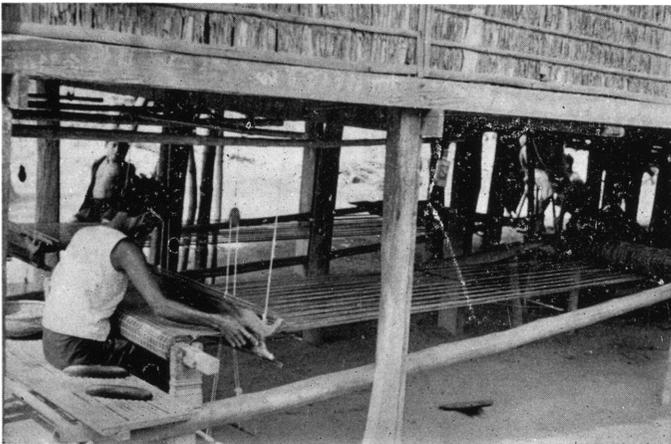


← カンボディア人の農家・屋根と壁はヤシの葉でつくる。右方の張出しは屋内炊事場(コンボンチャム附近)

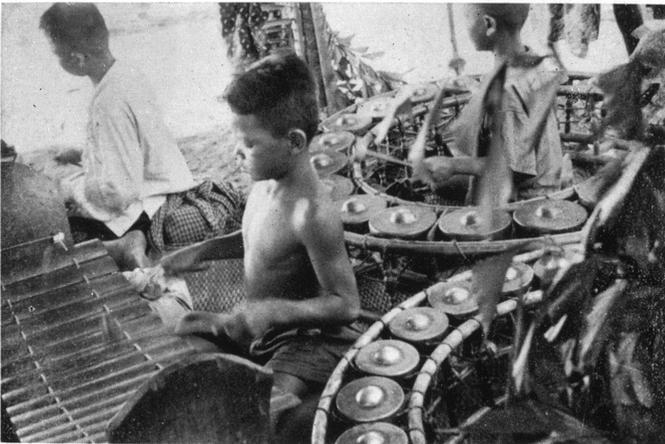
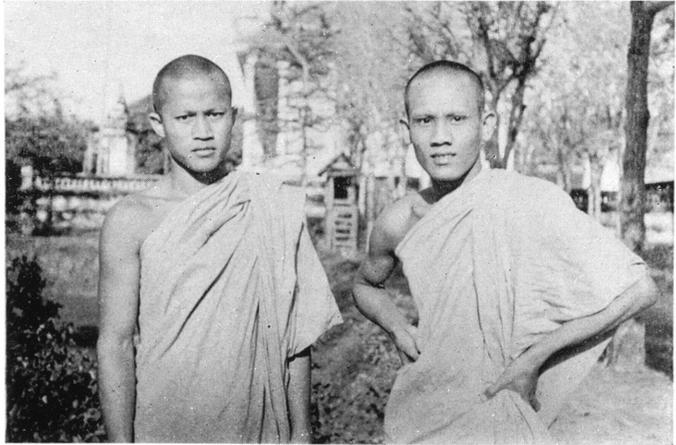
同上家屋の内部。部屋は2つに分かれていたが、家具・什器は殆どなく、穀類が雑然とおかれていた、これは唯一の机



雨期に備えて床は高くする。乾期にはそこで機織をしたり、物置となる  
(プレクリップ附近) ↓



青年僧侶 (コンボンチエン) →



← 農村の祭風景. 寺の庭のヤシでふいた仮小屋で僧を中心に老若男女が集り樂を奏する (クラチエ附近)

カンボディア人の農家の母子 →  
(ブノンベン附近)



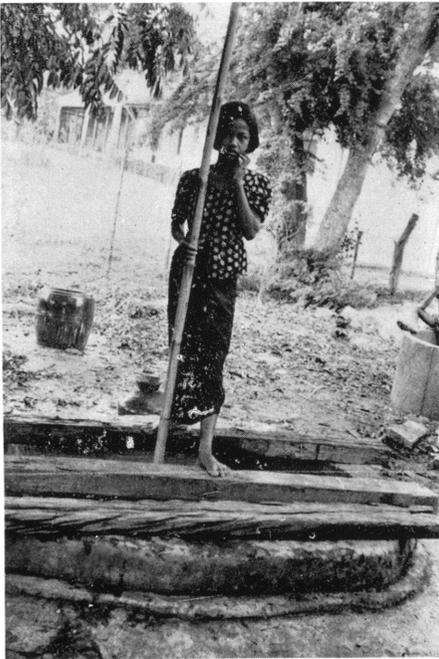


← 街頭で見た女歯医者 (プノンペン)

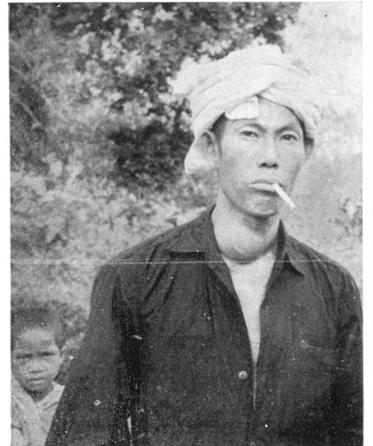
診療所。国立だといわれるが施設は貧弱である (ブロックレン)



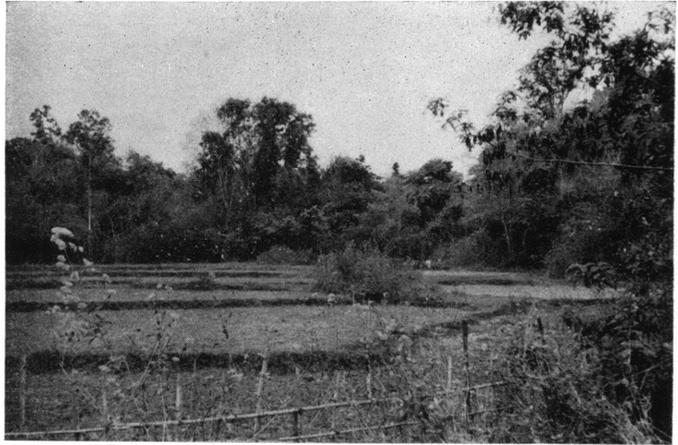
井戸水を汲みに来た娘  
(コンボンチャム附近)



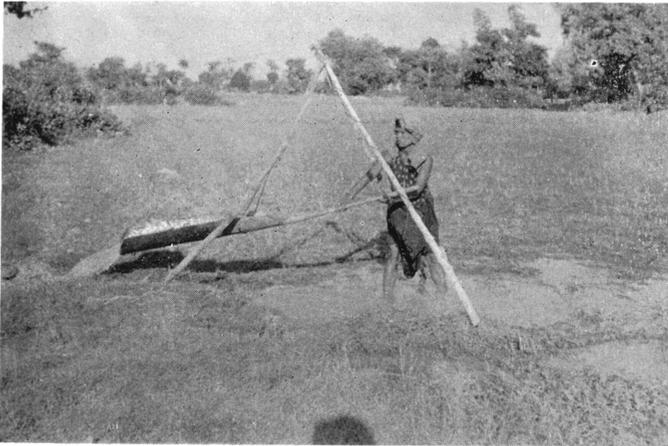
のどのふくれた男。→  
よく見受ける  
(コンボントム附近)



山間にひらかれた水田 →  
(ストントレン東方)



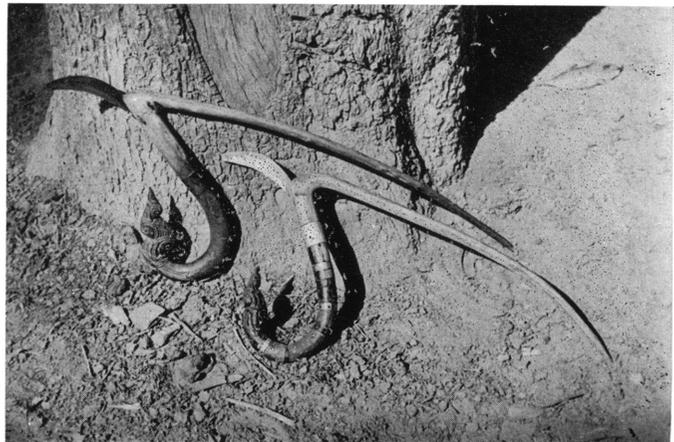
苗代に灌漑しているところ  
(タケオ附近)



稲刈鎌. 長い部分で倒れた稲を起し,  
短い刃で刈り取る. 柄には美  
しい彫刻がぎざまれている



稲刈鎌と農村の子供



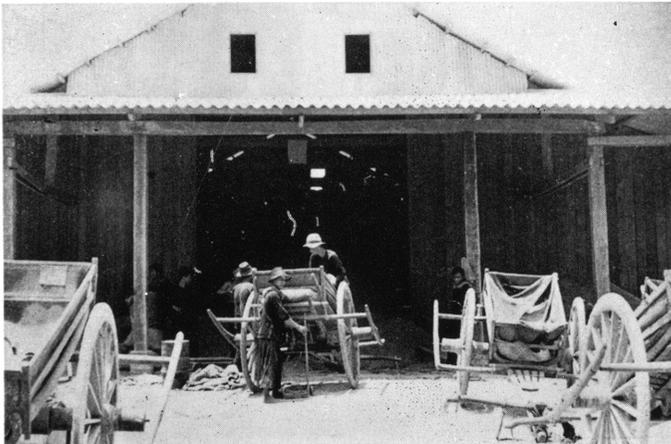


← 天秤棒・下げる部分はトウで作られる (プノンベン附近)

脱穀作業・稲わらを2本の木ではさみ板に打ちつける (プノンベン附近)

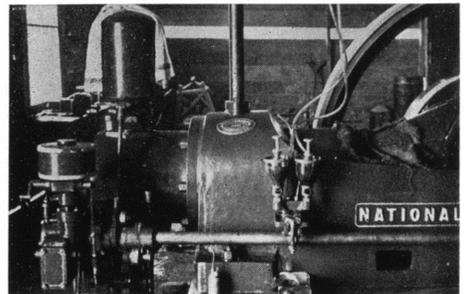


華僑が経営する精米所・籾を牛車で運んでくる (シエムレアップ東方)



精米所の発動機 (英国製)

↓ (シエムレアップ東方)



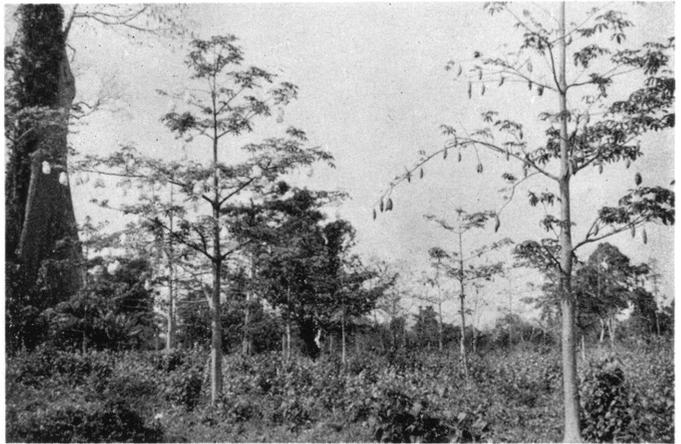


↑  
ゴム園 (ミモット)



カボック (コンボントム附近) →

華僑の経営するコシヨウ園  
← (カンボット)





← ココヤシ (プノンペン近郊)  
至る所で見られるが概して成育がわるい



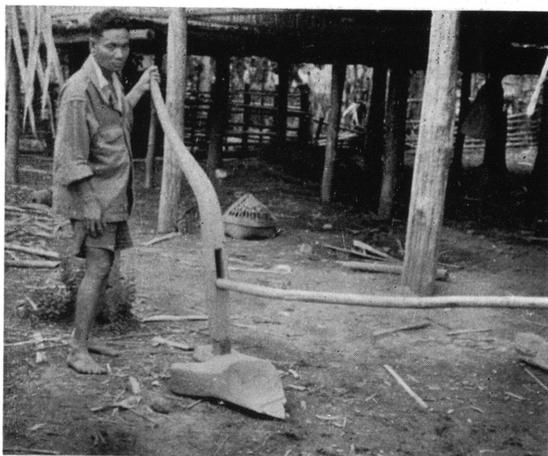
↑ 砂糖をとる扇ヤシ。木の頂の人物は糖液採集の竹筒をとりかえている (クラチエ附近)



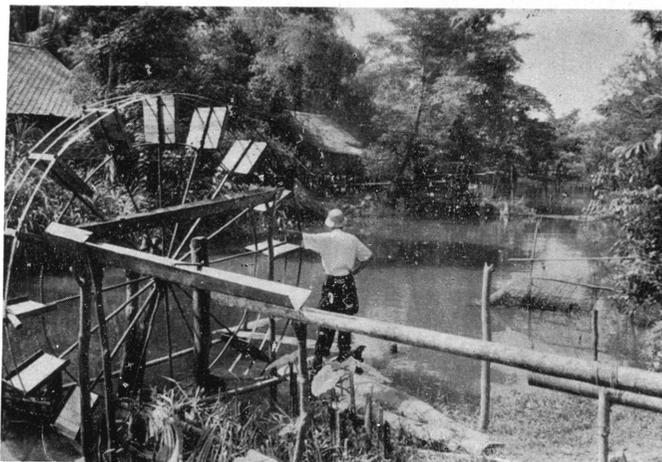
↑ トウモロコシをまくカンボディア人。右方の人物は棒で穴をあけ、左方の人物が播種をしている (バタンバン附近)

肥柄杓。肥料は貝や米を壺にたくわえて → くさらししたものを用いる (プノンペン近郊)





↑ ↗  
原始的なハローと鋤。全木製で金属を用いていない（ムノンのもの）、カンボディアの普通の鋤には鋤先には多少の金属を用いている



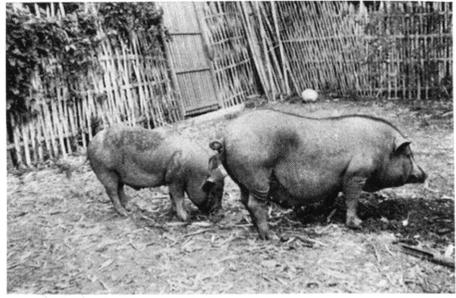
↑  
灌水用水車（シエムレアップ附近）



← 華蕎菜園の灌水桶（ブノンベン近郊）



↑ ゼブ(コブ)牛  
(プレイコール)



↑ 豚(クラチェ北方)

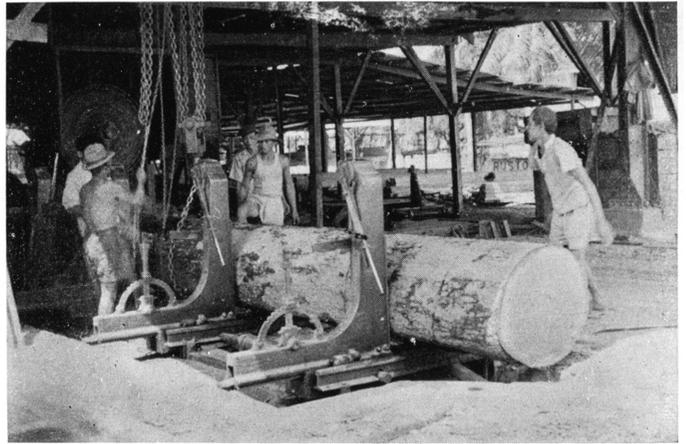


← 材木を運ぶ水牛  
(クラチェ附近)

華僑の経営する製材所(スノール)



現地人の松脂採集の状況  
(コンボントム附近)





↑  
疎林と密林の境目 (ストントレン附近)

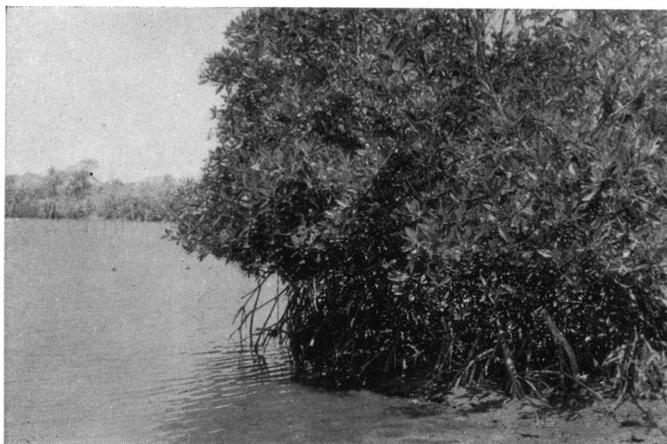


↑  
ジャングル中をゆくダイハツ. 手にする  
は野象の生々しい糞(ストントレン附近)



↑  
疎林地帯に遊ぶ水牛の群  
(ストントレン東方)

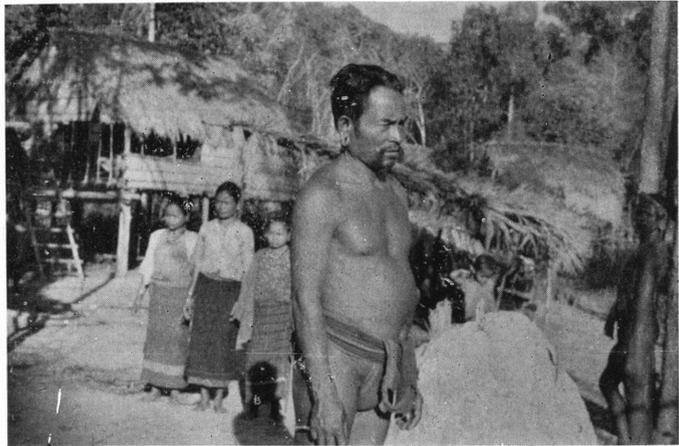
マングローブ (ケップ海岸) →





← スレブロックにて野営する調査員(自動三輪車内が寝室)ガソリンバーナーにて湯を沸しているところ

山に住むクイ(ブノン族) →  
の壮年、禪をしめ耳には飾  
をつける穴があいている  
(ストントレン附近)



← クイの母と子、未婚者は裸  
体を見せない

クイの娘たち →



↑ クイの老人

↑  
クイの集落 ジャングルを切り開いて家を建てる、右方の乾柿のようなのは野牛の乾燥肉（食糧）である

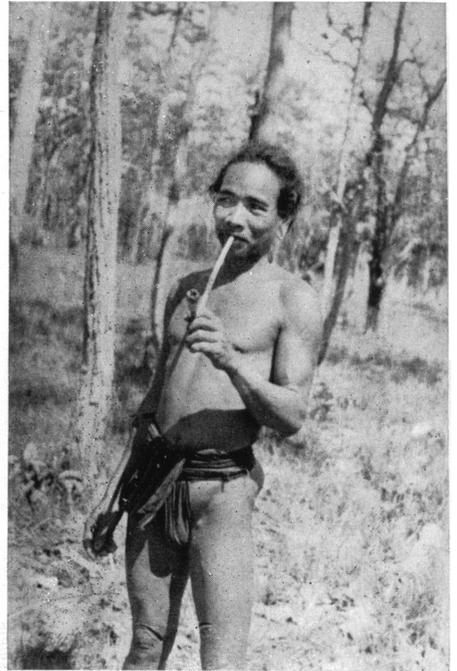
丸い銅器をたたいて、歓迎するクイの青年 →





↑ ムノン（ブノン族）の母子（クラチェ附近）

ムノンの男・長いパイプを用いている →



← ムノンの青年・この弓で狩猟を行う

